

市川三郷町のっぴい魅力化プロジェクト 2022

－ 実施報告 －

1 プロジェクトの軌跡

「わがまち魅力化プロジェクト」は、故 安田泰敏棋士・九段（元 東京富士大学客員教授）のご提案で、（前）東京富士大学・黒田秀雄教授（現・一般財団法人日本総合研究所 特任研究員）が担当していた東京富士大学企業ビジネス同好会が中心となって企画立案し、地域おこし協力隊や地元の住民の皆さま、事業者などの地域関係者と連携しながら実践活動をスタートした。

プロジェクトの目的は、都市部の大学生が、少子高齢化や過疎化等の問題を抱える地方のまちに滞在し、地域の方々との交流やフィールドワークを通じて、まちの魅力や課題を探り、その地域の魅力化案（事業化案）を提案するものである。これまでに鳥取県日野町（2016～18年）、山梨県市川三郷町（2019年～）をフィールドとして実践活動を行ってきた。

2019年に市川三郷町で実施した後、コロナ禍の影響により、フィールドワークを断念せざるを得ない状況が続いた。そのような中で、東京富士大学企業ビジネス研究同好会では、その後も継続的に市川三郷町の情報収集・研究を継続し、その成果の発表機会として、東京と市川三郷町をオンラインでつないで意見交換会を開催した（2020年8月）。そのようなプロセスを経て、東京富士大学と山梨県立青洲高校との高大連携につながる取組に展開してきた。

そして2022年（9月9日～11日）、コロナ禍の影響を受けつつも、感染対策に細心の注意を払いながら、多くの皆さまのご支援を受け、市川三郷町においてフィールドワークを再開することができた。

2 プロジェクトの目的

都市部で生活している大学生が、少子高齢化や過疎化の問題を抱える市川三郷町に滞在し、地域の方々との交流やフィールドワークを通じて、まちの魅力や課題を探り、その地域の魅力化案（事業化案）を提案する。

- 大学生のアイデアを市川三郷町の魅力化や地域おこしに役立てていただく。
- 参加学生にとっては、過疎地域の問題や田舎の環境に直に触れる経験となり、住民との交流や他大学の学生との交流など有意義な活動となる。
- 地元の皆さまにとっては、都市部の若者とのつながりにより、今後も地域おこしをはじめ様々な連携が期待できる。

3 実施期間とプログラム

日	時	内容
9/9(金)	13:00 ～14:00	市川三郷町役場（本庁舎）集合 ⇒オリエンテーション（@役場本庁舎 大会議室）
	14:15 ～14:45	碑林公園散策
	14:45 ～15:00	障害者支援組織リベルタ（飲料・ケーキのデリバリー）
	15:00 ～16:30	篆刻体験（@碑林公園）
	16:45 ～17:15	アグリ甲斐視察&ヒアリング
	17:30 ～18:00	大塚にんじん間引き体験
	18:00 ～19:00	食事・風呂（@みたまの湯、みはらし亭）
	20:00	水明荘到着 ⇒ 翌日（ヒアリング等）準備
9/10(土)	8:15	朝食後、水明荘出発
	8:30 ～9:30	織物体験&移住者ヒアリング（@山まゆの里）
	10:00～ 11:00～	【フィールドワーク】 ●ヒアリング&伝統工芸に触れる 花火/マルゴー（@花火資料館） ※SDGs 推進企業 和紙（@金長特殊製紙）
	12:00 ～13:00	昼食（@とりしん）
	13:00 ～14:00	●ヒアリング（@旧二葉屋酒造店） 邦文堂/市川マップの会 ※SDGs 推進企業
	14:00 ～14:50	●町なか散策 （旧街道の街並み、関所、史跡、神社仏閣等）
	15:00 ～17:15	【グループディスカッション】（@役場本庁舎 大会議室） ◎高校生と大学生との協働 ◎学びの共有 ◎ビジネスプラン作成
	17:30 ～18:00	移動&夕食準備
	18:00 ～19:30	夕食（@旧二葉屋酒造店）、立食交流会&手持ち花火など ※ご協力者の方や周辺地域の住民の方々も参集。
	20:00頃	解散 ⇒ ホテルニューオオギへ移動
9/11(日)		朝食後、移動
	10:00 ～11:30	プレゼン大会（@if センター 多目的室）
	11:30 ～12:00	マスコミ取材対応（@if センター）
	12:30	昼食&振り返り会（@ニューポート）
	14:00	振り返り会后、適宜解散 ⇒学生の希望により夢工房にて手すき和紙体験
	15:00	終了

4 参加学生

都市部の大学に通う大学生・大学院生 11 名

大学	学部	人数（学年・性別）
東京経済大学	経済学部	1 名(1 年男子)
東京富士大学	経営学部	4 名(1 年男子、2 年男子、2 年女子 2 名)
日本大学	経済学部	1 名(2 年男子)
横浜国立大学	都市科学部	3 名(1 年女子、2 年男子、3 年男子)
横浜国立大学大学院	国際社会科学府	2 名(博士課程前期 1 年女子、後期 2 年男子)

5 テーマ “市川三郷町ブランドを考えよう”

参加学生たちは 3 チームに分かれ、「地域商社」(※) の社長・社員という想定で、市川三郷町にある地域資源を題材に、市川三郷町ブランドを最大限活かすビジネスプランを考案した。3 チームからそれぞれ「漢字の町」、「『色で遊ぶ』ビジネスデザイン」、「周遊しやすい街」というコンセプトのビジネスプランが提案された。

※地域商社とは、地域資源を活用した特産品のブランド力を最大限に高め、商品開発・生産から市場・販路開拓、販売まで、「地産外商」の役割をトータルに担う存在。

6 実施体制

主催：市川三郷町 のっぷい魅力化プロジェクト実行委員会

後援：市川三郷町

協力：市川三郷町町民・事業者の皆さま、

東京富士大学 企業ビジネス研究同好会、

東京経済大学、日本大学、横浜国立大学、

一般財団法人日本総合研究所、一般財団法人社会開発研究センター、

一般社団法人 COLLEGA

「市川三郷町のっぴい魅力化プロジェクト 2022」実施報告書のご案内

「市川三郷町のっぴい魅力化プロジェクト 2022」の活動内容等を取りまとめた実施報告書を作成しました。参加学生たちの提案内容や感想のほか、関係者や協力事業者、町の住民の方々からのコメントを掲載しています。

参考まで、次ページ以降にて「フォトレポート」をご紹介します。



【実施報告書に関するお問合せ先】

一般社団法人 COLLEGA（コッレーガ） 担当：内田

〒102-0084 東京都千代田区二番町 5 番 7 号 JP ビル

（一般財団法人日本総合研究所内）

Email：uchida アットマーク collega.or.jp ※アットマークを@に変換してください

URL：https://collega.or.jp/

◆DAY 1 2022.9.9



最初に市川三郷町役場でオリエンテーションを実施、お世話になる町の皆様と参加学生の顔合わせ
さすがに参加学生は緊張の面持ち



地域商社 アグリ甲斐の共撰所を視察
真剣に耳を傾ける



「のっふい」の土壌に足を踏み入れる
とてもフカフカな感触



◆DAY 2 2022.9.10



四尾連湖の美しさに感動



山まゆの里で移住者の方からお話を伺う
「蔦玉」に初めて触れ、クラフト体験



花火資料館で花火メーカーのマルゴーから
お話を伺う



昼食後は町なか散策



登録有形文化財の旧二葉屋酒造店で、市川マップの会からまちづくりの現状について伺う



◆DAY 3 2022.9.11



プレゼン風景・A チーム



プレゼン風景・B チーム



碑林公園へ移動し、拓本に挑戦
障害者支援組織リベルタのコーヒーとケーキで休憩



篆刻の方法を教えてもらいながら、慎重に黙々と彫る
指先の器用さや得手・不得手があるかも



温泉施設「みたまの湯」で食事と温泉を堪能



一日目の宿泊場所「水明荘」で花火
霧と煙で何も見えない…



「はなびかん」では花火へのこだわりなどを伺う



金長特殊製紙では、伝統工芸の和紙を使った新商品開発の工房を見学



フィールドワークを終え、町役場でグループディスカッション
市川三郷町の魅力や課題について熱心に話しあう



夜は、旧二葉屋酒造で夕食と交流会



プレゼン風景・Cチーム



プレゼンお疲れ様！
ニューポートで昼食と3日間の振り返り



最後の最後に手すき和紙体験をして解散